

輝いている人を紹介します
まちのキラリ



(写真左から) ^{ひなち}菅野温さん、^{まさこ}湯田孝子さん、^{まさゆう}佐藤政勇さん、^{あかり}佐藤紅里支援員、湯田健一会長 (※本文はそれぞれお名前の一字で示しています。)

花のまちづくりコンクール努力賞

富成地域まちづくり振興会 (保原地域)

花のまちづくりコンクールで、全国1,031組の中から努力賞(若葉賞)に選ばれた同会。地区交流館前の「にこにこかだん」に見る人が楽しめる仕掛けをし、地域を盛り上げた取り組みが評価を得た。「来年はもっとグレードアップ!」と意気込む会員たちに話を伺った。

構図を工夫した自慢の花壇

温 今年は支援員の紅里さんのアイデアで花を4種類に増やして、曲線的な植え方にして、ライトをつけて夜も見えるようにしました。

紅 農業学校で花壇をデザインする授業を受けたことがあって、おもしろいんじゃないかと思いました。

健 応募の写真も、写真好きな人がいい写真を撮ってくれて、それぞれ得意分野を發揮して取れた賞ですね。



取材時(10月6日)はまだまだ花盛り。花がらを丁寧に摘んで花が長く咲くよう工夫しているそう。

花壇がきれいな理由は他にも

政 元々この花壇は小学校の児童や交流館を管理する人たちが世話してずっとつないできた歴史があります。そこに新しい風が吹きました。

温 30年くらい前かな、花壇を作る前は残土捨て場で殺風景だった時もありました。学校やママさん学級の人がやってくれていたこともあって続いてきましたね。

孝 福島市の友人が「花壇がきれいだと、地区に住む人がどんな人かわかる。気持ちのいいところだね」っていうも

褒めてくれるんですよ。

紅 富成は優しくて温かい人ばかりで、皆さんと一緒に花壇づくりができてよかったと思います。

健 来年は、さらなるパワーアップを目指しています。来年もデザイン頼んだよ(笑)。
富成から広める地域づくり

健 今年はロゴマークを募集で決めて、缶バッジのぼりを作って一体感を高めてきました。地域の人が楽しい、元気になる活動をするのが一番の目的です。

富成小の活用で社会福祉協議会が入りますし、「富成プロジェクト」のメンバーがさらに富成を盛り上げる企画を考えています。10月20日からは、0のつく平日に「富成はんかた市」を始めます。富成に人がたくさん来る：そんなことになったら本当に楽しくて仕方ないですね。



ロゴマーク入りの缶バッジ